

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：教育学研究科

学年：修士 2 年

留学先大学：York St John University

現在の学期：Semester 1

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	14:00-17:00 Applied Phonetics and Phonology
火	
水	11:30-13:00 Key Concepts for TESOL (Lecture)
木	13:30-15:00 Language and Society (Lecture)
金	9:30-11:00 Key Concepts for TESOL (Seminar) 16:30-18:00 Language and Society (Seminar)
土・日	

履修科目や近況について

渡英前に履修希望を第 8 希望まで提出しました。結果、第 3, 6, 7 希望になりました。私はリーディングが専門のため、特に Applied Phonetics and Phonology (音声) は学部時代にもあまり得意ではなかった上に、Prerequisite があったにも関わらずおそらく修士ということで履修する (できる) ことになってしましました。内容は難しいですが、イギリスで英語の音について学べるという、せっかくの機会なので最後まで頑張ろうと思っています。

基本的に、3 種類の講義を受けます (20 credits × 3 種類)。千葉大で言うと、週あたり 90 分のコマを 6 つとするようなイメージです。1 つの講義がレクチャーとセミナーに分かれていますが、先述した Applied Phonetics and Phonology はひとまとまりでワークショップという名目の講義になっています。それぞれの授業の予習に 1 時間、復習に 1 時間くらいかけています。講義以外には、ボランティアの方が開催してくれている週 1 回の英会話のレッスンを受けています。英会話のレッスンと Academic discussion の二つを留学生向けに開講してくれていますが、私はゆるく勉強したいので英会話のレッスンのみ参加しています。

今は講義を受けつつ 10 月末が締め切りの論文を書かなければならないため、寮から歩いて 20 分ほどのところにある中心街に散歩や買い物をしに行ったり、フラットメイトと寮やカフェで話をしたりすることでリフレッシュをしています。聞いていた通り空気の乾燥が凄まじく、到着後 1 週間も経たずに 40 度の高熱が 2 日間続きました。

私は本当に幸運なことに、フラットメイトが全員女の子でした。5 人中 3 人が日本出身、1 人が韓国出身、1 人がウガンダ出身で、みんな綺麗好きでいい子です。基本的には

フラットは男女混合のようですが、フラットメイトのうち一人が女子のみのフラットにしてほしいと頼んだそうです。

到着してから、学生証をもらうのに5時間かかったり、夜に少し怖い思いをしたり、買い物に失敗したり、高熱で動けなくなったりと、色々ありましたがどうにかなっています。また、留学生担当の方々がとても親切でサポートが手厚いと感じます。例えば、空港までバスで迎えに来てくれたり、到着したらSIMや食べ物の入ったバッグをくれたり、交換留学生向けにイベントを開いてくれたりしました。中心街が比較的近いので綺麗な街並みを見ながら生活できることが嬉しいです。



マーケットで食べたフィッシュアンドチップス（左）
カフェで食べたイングリッシュブレックファスト（右）



街の様子



大学の様子。一番綺麗なところです。



フラットの外観